

G.F. HÄNDEL

# MESSIAH

(全曲演奏)

## 第44回ベガメサイア

2024年

# 12/7

土

14:00 開演  
(30分前開場)

### 宝塚ベガ・ホール

(阪急宝塚線清荒神駅下車すぐ)



指揮 高曲 伸和、演奏 テレマン室内オーケストラ

ソプラノ 松岡 万希、メソソプラノ 増渕 弥生、テノール 眞木 喜規、バリトン 津國 直樹、合唱 ベガメサイアを唱う会

■友の会 前売2,400円(当日同額)

先行予約 9月20日(金) 10:00~

■一般 前売3,000円(当日3,300円)

一般発売 9月27日(金) 10:00~

【チケットのお求め】

■宝塚市文化財団ウェブサイト

電子チケットアプリ「チケットれすQ」もご利用いただけます。

■宝塚ベガ・ホール TEL 0797-84-6192 (9:00~17:00/水休)

宝塚ソリオホール、宝塚文化創造館窓口でも販売

■ローソンチケット 店頭または<http://l-tike.com>にて販売 (Lコード55467)



・全席自由

・前売券完売の場合、当日券の販売はございません。

・未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 公益財団法人宝塚市文化財団  
公益財団法人兵庫県芸術文化協会

共催 兵庫県、兵庫県教育委員会

後援 宝塚市、宝塚市教育委員会、日本ヘンデル協会



## 県民芸術劇場

この「県民芸術劇場」は、優れた舞台芸術をより多くの方々に身近に鑑賞していただくため、(公財)兵庫県芸術文化協会が県の補助を受けて、市町等地元主催者とともにその経費の一部を負担して実施するものです。

お問い合わせ 宝塚ベガ・ホール 0797-84-6192

地域文化の質向上を願い、(公財)宝塚市文化財団の文化事業の支援を目的としてご寄付をいただきました。

三井不動産リアルティ  
MITSUI FUDOSAN REALTY

KANAI  
金井重要工業株式会社

大和証券  
Daiwa Securities



## 指揮 高曲 伸和 TAKAMAGARI Nobukazu

同志社高等学校、大阪音楽大学を経て同大学院修了。奨学金を得て渡蘭、マックス・ファン・エグモント氏の元で研鑽を積む。バッハ《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》などのバリトン・バス独唱を務める。中でも、2014年《マタイ受難曲》のイエス役は音楽之友誌上でも「充実の歌唱」と評を得た。一方指揮者としてもバロックから古典派のスペシャリストとして、バッハ《マタイ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン交響曲第9番のほかオペラも含めた声楽作品を中心に幅広いレパートリーを持つ。手兵アンサンブル・フロットほかプロオーケストラへ客演、文化庁主催青少年のための音楽教育プログラムでも全国各地へ巡回公演を重ねている。近年ではスタジオジブリ作品のテーマ曲による全国ツアーや、兵庫県立芸術文化センター他でミュージカル公演の指揮、宝塚歌劇団では副指揮者としても宝塚大劇場・梅田芸術劇場での公演を支えている。2017-2019年 KBS 京都テレビ「おやかまっさん」レギュラーのほか各メディアへ登場。アンサンブル・フロット音楽監督、大阪音楽大学演奏員、日本指揮者協会会員、NPO 法人関西音楽人クラブ運営委員。

## 演奏 テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）、「サントリー音楽賞」（関西初）等。1990年バロック・ヴァイオリンのサイモン・スタンディージをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器（18世紀当時の楽器およびそのレプリカ）による演奏を始める。2003年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。2006年からはクラシカル楽器（古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ）による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。2008年にはクラシカル楽器による「ベートーヴェン交響曲全曲&荘厳ミサ曲」を連続公演。これがきっかけとなり延原はドイツ連邦共和国より功労勲章を受章した。2009年よりテレマン室内管弦楽団をあらため「テレマン室内オーケストラ」と改称。2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリンのU. ブンディースを首席客演コンサートマスターとして迎えた。2023年には協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞。



## ソプラノ 松岡 万希 MATSUOKA Maki

神戸市出身、14歳より声楽を学び、兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻を首席で卒業、東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科オペラ専攻を修了。リリックな響きと豊かな声量を持ち、イタリア・ロマン派作品の演奏を得意としている。その歌唱は「第53回全国学生音楽コンクール」「第2回東京音楽コンクール」「第9回コンセール・マロニエ 21」「第28回飯塚新人音楽コンクール」の全てにおいて総合第1位優勝と高く評価される。2001年京都市芸術文化特別奨励者に、2006年度文化庁新進芸術家海外留学制度にて研修員に選定されイタリアに渡り、フィレンツェを拠点に演奏活動を行う。帰国後はリサイタル公演を中心として各方面のコンサート、オペラ公演にソリスト、主要役として出演、「第20回青山音楽賞」「第20回ABC新人コンサート音楽賞」「平成24年度ひょうごアーティストサロン賞」「兵庫県芸術奨励賞」など演奏活動への定評も得ている。CDアルバム「ストルネッロを歌う女」をリリース。近年は配信事業に着目、多くの歌手を牽引して配信コンサートをコーディネート、成功させている。東京二期会会員



## メゾソプラノ 増淵 弥生 MASUBUCHI Yayoi

大阪音楽大学声楽専攻卒業、同大学専攻科修了、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。ドイツ歌曲のコンサートや宗教曲のソリスト、声楽アンサンブルなどの活動を行う。オペラでは、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール オペラピエナナレ「ミニヨン」フレデリック、ザ・カレッジ・オペラハウス サマーオペラ「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラ、関西二期会 室内オペラ「ザネット」ザネット役、河内長野市立文化会館ラプリーホール オータムオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役などで出演。また、小学校などでの学校公演への出演や、大阪市内の保育園にて園児向けの歌唱指導を行うなど、子どもの音楽教育にも力を入れている。関西二期会会員。日本シュベルト協会会員。



## テノール 眞木 喜規 MAKI Yoshinori

大阪音楽大学卒業後は主に教会音楽の分野で活躍。バッハの作品ではこれまでにカンタータ、ミサ曲等約100曲に渡る楽曲でソリストを歌い、バッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」ヘンデル「プロクセス受難曲」テレマン作曲の受難曲等で福音史家を務める。バロックから古典派を中心とした教会音楽においてソリストとして多数出演。2002年ライブツィヒ・バッハ音楽祭、2021、2022年武生国際音楽祭にソリストとして出演。現在、ヴォイスペクティヴ・ディレクター。神戸市混声合唱団団員。全国のプロ合唱団、古楽アンサンブル等に多数参加。合唱指導者として、日本製鉄混声合唱団ヴォイストレーナーの他、レクイエム・プロジェクトで合唱指導、室内合唱団えべっさんず、コルス・シンフォニアクス、ヴェリタス・コア大阪、等で指揮者・音楽監督として活動している。



## バリトン 津國 直樹 TSUKUNI Naoki

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業。ローム音楽財団奨学生。オペラではフィガロの結婚、マルタ、ジャンニ・スキッキ、ヘンゼルとグレーテル等主要な役で多数出演。歌曲では美しき水車小屋の娘、冬の旅、詩人の恋などをウィーン、東京、金沢、京都などで演奏。宗教曲ソリストとして、ベートーヴェン：ミサ・ソレムニス、第九、モーツァルト、フォーレ：レクイエム、ヘンデル：メサイアの他、メンデルスゾーン：エリア、パウロ、バッハ：マタイ受難曲、ヨハネ受難曲を好演した。JSG シュベルト国際歌曲コンクール2位、聴衆審査による特別賞。友愛リートコンクール1位、文部科学大臣奨励賞。日本音楽コンクール3位。桃山学院大学教育学部非常勤講師。京都子どもの音楽教室非常勤研究員。

## 合唱 ベガメサイアを唱う会

ベガ・ホールで「メサイア」を歌うために毎年8月下旬から練習を始め、12月の演奏会が終われば翌年までお別れというユニークな合唱団。公募、オーディションを経て団員となる。